

ミックスボイスの基本姿勢 (超重要事項)

ミックスポイスの習得を考えるときに、絶対に厳守して
いただきたい考え方をお伝えします。

① 軽い地声

② 息を漏らさない

③ 切り替えない

① 薄い地声

あえてここでは感覚的なお話をしますが、

ミックスボイス=薄い地声と考えてください。

(特に初期の段階)

地声と裏声を頑張って繋げるだとか、地声と裏声を切り替えるだとか

そんな話ではなく、高音まで薄く地声を引き伸ばしていくイメージです。

すぐに裏声にひっくり返らないように、そのまま地声を高音まで薄くしていくイメージですね。

そんなイメージで発声した結果として、

地声と裏声がスムーズに繋がる感覚になるということです。

NG

地声と裏声を繋げようとする → 地声と裏声が繋がる

OK

高音まで薄く地声を引き伸ばしていく

→ 結果として地声と裏声が繋がる

② 息を漏らすのは最後の手段

ミックスボイスを習得するときに、息を漏らすと

確かに低音と高音が繋がりやすくなります。

僕も、本当の初心者さんに解説するときはこのような解説をすることもあります。

しかし、それはあくまでも

どうしても低音と高音が繋がらないときに

”しかたなくやるもの”であって、積極的にやるべきものではありません。

なぜなら、もうこの講座を受講している皆さんなら分かるでしょうが、

息を漏らすと、仮声帯が声帯に介入してくるからです。

息を漏らすことで、短期的に見ればなんとなく声が繋がったように思えても、

長期的に見れば、非常にミックスさせづらい喉にしてしまうわけです。

ですから、なるべく息を漏らさない方向性で

ミックスボイスの習得を進めていくことを提唱します。

③ 声を切り替えない

①と通じるところがあるのですが、

ミックスボイスで声を切り替えることは一切ありません。

一切です。

確かにセグメント（声を扱いつらくするポイント）がたくさんあるせいで、

声が切り替わって感じることはありますが、それは理想の状態ではないわけです。

ですから

なるべく声を切り替えない意識で練習し続けていく必要があるのです。

僕も

「声を上手に切り替えよう」と思っていた時期がありましたが、実際に歌の中で

声を切り替えるなんて無理でしたし、そもそもその発声状態を見直した方がいいというお話ですね。

以上、シンプルで基本的な3つの考え方を忘れずに、
ミックスボイスの習得に取り組んでください。

やれば必ず習得できます。一緒に頑張りましょう。